

# 中国株ウィークリーレポート

2019/1/15

## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	23,995.95	-5.97	-0.02	2.40	2.87	23,327.46
NASDAQ	6,971.48	-14.59	-0.21	3.45	5.07	6,635.28
日経225	20,359.70	195.90	0.97	4.08	1.72	20,014.77
上海総合	2,553.83	18.73	0.74	1.55	2.40	2,493.90
滬深300 (CSI300)	3,094.78	22.09	0.72	1.94	2.79	3,010.65
ハンセン	26,667.27	145.84	0.55	4.06	3.18	25,845.70
中国企業	10,454.95	60.36	0.58	4.24	3.26	10,124.75

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は4.1%高と大幅続伸、上海総合指数は1.5%高

香港市場ではハンセン指数が週間で4.1%高と大幅に続伸。米中通商交渉の進展や金融緩和への期待を背景にハンセン指数は9日に節目の26000ポイント台を回復すると、11日には約7カ月ぶりに6連騰を記録した。7-9日に貿易問題を巡る米中の次官級協議が開かれ、米中対立激化への警戒感が後退。米長期金利の低下も相場の支援材料となった。本土市場では上海総合指数が週間で1.5%高と続伸。前週末の預金準備率の引き下げ発表で市場心理が改善する中、米中貿易問題を巡る交渉の進展期待が相場を支えた。

### 今週の展望:香港市場はもみ合いの展開か、中国の貿易統計悪化が相場の重しに

香港市場はもみ合いの展開が予想される。中国の12月の貿易統計で輸出入がマイナス成長となったことで中国景気の先行き懸念が強まっているほか、来週発表される中国の主要経済指標を前に週末にかけて様子見姿勢が強まる可能性がある。一方で景気の先行き懸念が強まれば逆に中国政府による景気対策への期待が高まりやすく、相場の下支え要因となることが予想される。本土市場は底堅い展開か。貿易統計はネガティブサプライズとなったが、中国政府による景気対策期待が相場を支える展開となりそうだ。

## 先週のハンセン騰落ランキング

### ▼騰落率上位

順位	銘柄名	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	瑞声科技 (02018)	46.20	13.37
2	万洲国際 (00288)	6.55	11.97
3	舜宇光学科技 (02382)	68.75	11.79
4	長江実業地産 (01113)	64.10	8.92
5	シベック (00386)	6.14	8.87
6	石業集団 (01093)	12.06	8.84
7	中国生物製薬 (01177)	5.45	8.57
8	中国神華能源 (01088)	18.56	8.54
9	中国旺旺 (00151)	6.14	7.72
10	太古A (00019)	87.40	6.85

### ▼騰落率下位

順位	銘柄名	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	吉利汽車 (00175)	11.10	-6.57
2	Link REIT (00823)	79.75	-1.48
3	銀河娛樂 (00027)	48.05	-1.13
4	電能実業 (00006)	54.65	-0.36
5	恒安国際集団 (01044)	57.10	-0.35
6	中国中信 (00267)	12.40	0.32
7	中国銀行 (03988)	3.42	1.48
8	HSBC (00005)	65.40	1.63
9	信和置業 (00083)	14.52	1.68
10	香港鐵路 (00066)	42.00	1.94

## ▼今週の主なイベント

- 1月16日(水) 【中国】70都市不動産価格(12月)
- 1月17日(木) 【香港】失業率(10-12月)

### ▼今週の期待材料

- ◆中国外貨管理局が適格海外機関投資家の投資限度額引き上げを発表、1500億米ドルから2倍の3000億米ドルに
- ◆李克強首相が「合理的範囲に収まるよう経済運営を堅持する」と強調、景気対策への期待が高まる公算
- ◆中国の預金準備率の引き下げ、15日と25日にそれぞれ0.5ポイントずつ引き下げを実施

### ▼今週の懸念材料

- ◆12月の中国の貿易統計で輸出が4.4%減、輸入が7.6%減といずれもマイナス成長に転落
- ◆18年の中国の新車販売台数が280万600台に、前年比で2.8%減と28年ぶりの前年割れ
- ◆米政府機関の閉鎖が過去最長に、閉鎖がさらに長期化すれば米経済活動への影響に警戒感が高まる公算

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ ジョンソン・エレクトリック (00179) : 4-12月期の売上高が4%増加
- ☆ テンセント (00700) : 海南省三亜市と戦略提携、都市のIT化などの分野で協力
- ☆ 山東新華製薬 (00719) : 18年12月本決算速報値は16%増収、20%増益
- ☆ 中国南方航空 (01055) : 18年の旅客数が11%増加、12月は7%増
- ☆ 新華人寿保険 (01336) : 18年の保険料収入が12%増加、12月は15%増
- ☆ 中国冶金科工 (01618) : 18年の新規受注額が10%増加、国内受注が堅調
- ☆ 中国人寿保険 (02628) : 18年の保険料収入が5%増加、12月は9%増
- ☆ 衆安在線財産保険 (06060) : 18年の保険料収入が88%増加、12月は53%増
- ★ 小米集団 (01810) : ロシアの富豪が株式4.26%を売却、持ち株比率4.99%に低下
- ★ 周大福珠寶 (01929) : 10-12月の香港・マカオの既存店売上高が6%減少

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。